



平成25年1月30日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所 敷地周辺活断層の連動性評価に係る 追加の地形・地質調査計画の見直しについて

当社は、敦賀発電所敷地周辺の活断層の連動性評価について平成24年5月の旧原子力安全・保安院の見解案<sup>※</sup>を踏まえ、連動性評価のための追加の地形・地質調査を実施していくこととし、調査計画を平成24年6月に策定し、平成25年1月目途に調査結果を報告する計画で調査を進めてまいりました。

本調査については、調査の状況に応じて適宜補足の調査を実施しており、現地での調査も含めて調査・評価に時間を要しております。また、評価の取りまとめに際しては、地震及び津波に関わる新安全設計基準の検討状況を注視し、必要に応じて評価に反映していきたいと考えております。

このような状況から、平成25年1月までとしていた調査期間を平成25年6月までに延期することとしました。

かぶらぎおき                      いけのこうち                      やながせやま  
※：甲楽城沖断層～浦底断層～池河内断層～柳ヶ瀬山断層を一連の構造とした上で、横ずれが卓越する構造  
めら      かれいざきおき      かぶらぎ      やながせ      かじや  
が類似する和布一干飯崎沖断層～甲楽城断層、柳ヶ瀬断層南部～鍛冶屋断層との連動を考慮した検討を実施すること。（さらに南の関ヶ原断層まで連動させる必要があるか否か、検討が必要。）

当社は、引き続き徹底した調査に着実に取組み、発電所の安全性・信頼性の更なる向上に努めます。

以 上